

## 手話パフォーマンス甲子園実行委員会企画推進会議（平成30年度第1回）結果

1 日 時 平成30年7月5日（木）9：45～12：00（会場視察 11：30～12：00）

2 場 所 米子コンベンションセンター 会議棟5階 第6会議室

3 出席者 企画推進会議委員、事務局等（資料名簿のとおり）

### 4 次 第

委員長あいさつ

報告事項

（1）手話パフォーマンス甲子園実行委員会企画推進会議委員の委嘱について（資料1）

（2）参加チームの申込み状況について（資料2）

議 題

（1）議案第1号

第5回全国高校生手話パフォーマンス甲子園実施計画について（資料3）

その他

（1）今後の日程について（資料4）

（2）協賛の募集について（資料5）

（3）応援自動販売機の設置について（資料6）

（4）平成29年度事業報告・収支決算及び平成30年度事業計画・収支予算について（資料7）

（5）その他

### 5 内 容

#### 【報告事項】

（1）手話パフォーマンス甲子園実行委員会企画推進会議委員の委嘱について（資料1）

・人事異動等に伴う3名の新委員の委嘱について報告

・本人出席の新委員から一言御挨拶

（2）参加チームの申込み状況について（資料2）

・7月4日現在の参加申込状況（39チーム41校）について報告

《委員からの質疑・意見等》

（吉田委員）

・北海道・東北ブロックからもぜひ参加してほしい。

（事務局）

→申込みはまだだが、宮城県の古川黎明高等学校から参加の意思表示をいただいている。

（吉田委員）

・特別支援学校は聞こえない方の場合なら何かしらの支援方法や先生方のサポートなどの体制も含め検討が必要と思う。

#### 【議 題】

（1）第5回全国高校生手話パフォーマンス甲子園実施計画について

・資料3により実施計画案について事務局から説明。

・今後、実施計画の内容をさらに検討し、第2回企画推進会議で内容を協議することとした。

《委員からの質疑・意見等》

■演技司会者について(P3)

(森原委員、田中優子委員)

・中野郁海さんの手話レベルはどの程度なのか。あまり手話をされなければ早瀬さんとの司会進行について、事前にお二人が打合せをされることなどはどうか。

(事務局)

→具体的なレベルはわからないが第3回目の松本若菜さんくらいを想定。

お二人のスケジュールもあるが前日にお越しになられる予定なので打合せしていただくようにしたい。第1回から演技司会を務める早瀬さんからは中野さんの司会フォローをしていただく旨の意向をうかがっている。

(大杉委員)

→前日打合せに情報保障担当者も参加させていただけるとありがたい。司会に合わせて通訳者の立つ位置や動きなどの事前確認が必要となる。

(事務局)

→演技司会をどのように進めていくか事前にお二人でお話していただくことや前日の打合せなど調整していきたい。

## ■会場席について (P5, 10)

(大杉委員)

・資料内の席数がページにより異なるので確認してほしい。

(事務局)

→一般席は約1, 100席、うち80席がハートフルとなる。資料の記載方法を修正する。

(大杉委員)

・県外からバスで来られる手話サークル団体からハートフル席部分に席を確保してもらえたらありがたいという話もある。団体の受け入れ体制を整えるような準備があるといい。

(事務局)

→来場客が多く想定される場合と団体への優先的な席確保することのバランスなど難しい問題もあるが、ご意見を踏まえて考えさせていただく。

(委員長)

→事前にバスで来られる連絡があれば円滑な移動やバス駐車場の案内はお伝えできると思う。

## ■高校生ボランティア参加等について (P7)

(吉田委員)

・応援サポーターは手話ができる生徒か？できない場合は大会前に少し手話を習って応援のときに手話をしてほしい。高校生ボランティアも同様に、手話を学んでいただき手話で交流できるようにお願いしたい。

(事務局)

→応援サポーター、高校生ボランティアは手話ができることを条件としていないがこの機会に学んでいただくようにしたい。

(国広委員)

・以前の会議で高校生ボランティアについてはJRC（青少年赤十字）に呼びかけてはという話もあったがJRCへの連絡はどうなっているのか？

(事務局)

→大会自体への参加募集は日赤鳥取県支部を通じてJRCにご案内しているが、ボランティア

募集は直接各学校に案内をさせていただいている。

(佐伯委員)

JRCは全ての学校にないので一番いいのは各学校からJRCなどボランティアに関わる部活動に声かけしていただくのがよいかと感じている。

#### ■手話スタッフ・手話通訳者について(P7ほか)

(戸羽委員)

・計画書内の「手話スタッフ」、「手話通訳者」のほかに、「手話通訳スタッフ」という表記もあり、記載方法が整理できていないので確認してほしい。

(事務局)

→計画書の記載方法を整理・修正する。

#### ■ワークショップについて(P14)

(国広委員)

・ワークショップの3つの内容で、砂像色付け体験、缶バッジづくりのほかもう一つの内容は？

(事務局)

→お絵描き体験などを検討しているが、Claraさんと次回会議までに内容を調整したい。

#### ■スタンプラリーについて(P14)

(戸羽委員、国広委員、森原委員、田中優子委員)

・スタンプを5つ集めると参加賞と抽選券がもらえるという記載は？どのように参加賞がもらえるのか整理した方がよい。

(事務局)

→抽選券は誤って記載。スタンプを5つ集めると参加賞がもらえる仕組み。

・参加賞の景品は、福祉サービス事業所の商品と大山開山1300年祭商品と両方もらえるのか？また参加賞の数量は？

(事務局、m&m)

→いずれかを選んでいただくことを予定。現時点では500名分を予定している。

#### ■ろう者と聞こえる方をつなぐ機会としてのPR(P14)

(吉田委員)

・9月23日が手話言語の国際デーということで手話言語をもっとアピールしてほしい。手話を広める知事の会のホームページ等の情報の展示やパンフ配架によるデフリンピックの宣伝もお願いしたい。

(事務局)

→どのくらいのことができるのか、今後具体的なところを相談させていただきたい。

#### ■駐車場計画について(P15)

(国広委員)

・西部総合事務所の駐車場は、スタッフ専用か、一般の方は駐車できないのか。

(事務局)

→関係者バスやスタッフ用と利用するほか、会場近くの駐車場が満車になった場合は一般の方を西部総合事務所にご案内する予定。

## ■情報保障コーディネートチームについて (P6)

(国広委員)

- ・情報保障コーディネートチームはいつ頃集まり、様々な資料に反映していく計画があるのか？

(事務局)

→次の8月下旬の企画推進会議の同日に開催したい。

(田中委員)

- ・情報保障コーディネートチーム会議後に手話スタッフ等を募集することになるため8月下旬は遅く、もっと早い8月初めの予選審査会前に会議ができればと思う。

⇒ 会議後、チーム関係者で日程調整し8月1日(水)9:30から県庁で開催する予定となった。

※チームは、企画推進会議委員(手話関係:戸羽委員、森原委員、国広委員、田中(優)委員、吉田委員、大杉委員)、県聴覚障害者協会職員、事務局、m&m.COで構成

## ■HANDSIGN(ハンドサイン)スクールプロジェクトについて(P14)

(三王寺委員)

- ・鳥取聾学校ひまわり分校の小中学生も開催する高校で一緒に参加させてほしい。高校生になったら手話パフォに出たいということもあると思うし、今年の入学生の中には手話パフォに出たいからと言って鳥取聾学校に入学した生徒もいる。

(事務局)

→検討します。

(田中優子委員)

- ・ハンドサインは中部・東部の高校に訪問できないのか

(事務局)

→ハンドサイン側の都合もあり一日で複数校を訪問でき、開催地である米子市内の高校を考えている。この訪問プロジェクトは企画運営会社の提案企画という事情もある。

## ■HANDSIGN(ハンドサイン)の動画

(森原委員)

- ・昨年、会場内でハンドサインのビデオを流れていたが、字幕がついていなくて何を話しているかや歌の内容がわからないという声があり、今回はどのような予定か。

(m&m)

→現段階ではイベントの中で映像を上映することまで詰めていないが、もし上映することになればしっかり情報保障をつけてまいりたい。

## ■交流会について (P21)

(戸羽委員)

- ・交流会場内にあるスクリーンの大きさを教えてほしい。あまり小さいものだと見えにくい。

(事務局)

→後ほど確認したい。(→200インチと150インチを予定)

## 【その他】

(1) 今後の日程について(資料4)

- ・8月下旬に第2回企画推進会議の開催等、今後のスケジュール説明。

(2) 協賛の募集について (資料5)

- ・第5回大会の協賛(団体・個人)を募集している旨を説明。

(3) 応援自動販売機の設置について (資料6)

- ・今後、新たに米子コンベンションセンターに手話パフォーマンス甲子園応援自動販売機を設置する旨を説明。

(4) 平成29年度事業報告・収支決算及び平成30年度事業計画・収支予算について (資料7)

- ・実行委員会で承認を得た内容について説明。

《委員からの質疑・意見等》

- ・なし

(5) その他

- ・野間田委員から8月28日に米子コンベンションセンターで開催する平成30年度県民総合福祉大会についてご案内(昨年の手話P甲子園の審査員の中野佐代子氏が基調講演)

【会場視察】

- ・会議後、国際会議室、多目的ホール、ホワイエ、エントランスロビーを視察し現場確認を行った。

